

一般財団法人日本エスペラント協会 (JEI)

2012年度事業報告

I. 事業概況

【0】 基本方針と成果

1. 本協会はエスペラント発表125周年である2012年を機にエスペラントを広報し、エスペラント普及の運動を推進した。
2. 本協会は、2012年4月1日をもって、「財団法人日本エスペラント学会」を改組し、新たに「一般財団法人日本エスペラント協会」として発足した。これにあたり、新財団としての運営基盤の確立に努めた。

【1】 エスペラント普及事業 (担当：普及推進部)

【1. 1】 事業の方針と成果

エスペラントの普及推進活動、広報活動を行った。日本大会での活動は6節、ウェブを用いた広報活動については、7. 4節を参照。

【1. 2】 エスペラント普及推進事業

1. 新財団において、会員の拡大に努めた。
 - (1) 個人会員：新制度である会費半年払いの制度、団体会員所属の個人会員の会費割引制度などを定着させた。
 - (2) 団体会員：計55団体が年度末までに本会の団体会員となった。
2. エスペラント諸団体の活動支援を行った。
 - (1) 特に地方エスペラント大会には本会からの挨拶の送付を行い、4大会に理事が参加した。
 - (2) 「普及推進部だより」を12月に発行し、下記の運動年鑑にある団体に送付した。
 - (3) 各種行事を後援した。
3. 「エスペラント運動年鑑」：2011年についての情報をまとめて会誌8・9月号で公表。2012年についての情報を収集し、2013年度の会誌号外として4月に公表。
4. 小坂賞：星田淳さんに決定し、日本大会で表彰した。

【1. 3】 エスペラント広報事業

1. マスコミ向け広報紙『エスペラント通信』：4月、7月、9月、12月に発行。内容と発送先は下記参照：<http://www.jei.or.jp/informo/informilo/2013-04/index.htm>。
2. 展示会（東京のグローバルフェスタ）：10月6～7日に、エスペラントの展示を実施した。

【2】 エスペラントを用いた国際交流事業 (担当：国際部)

【2. 1】 事業の方針と成果

日本のエスペランティストの国際的なエスペラント活動の支援、外国のエスペランティストの国内行事への参加の促進などを行った。青年層向けに「青年エスペランティスト国際行動支援金」の規程を整備した。日本大会での活動は6節を参照。

【2. 2】 国際交流事業

1. 国際的なエスペラント大会へ参加し、また協力を呼びかけた。
 - (1) 第97回世界エスペラント大会（ベトナム・ハノイ、7月28日～8月4日）。登録・注文の取次を行い、また参加旅行団を組織し、51人が参加。世界エスペラント協会 (UEA) の委員2人が参加。在ベトナム日本大使館から佐藤哲也二等書記官が開会式へ出席。展示会 (Movada Foiro) に参加。UEAの名誉会員に堀泰雄氏が選出された。

- (2) 第68回国際青年E大会（ベトナム・ハノイ、8月5～11日）：上述の支援金を1名に提供した。
 - (3) 第31回日韓中エスペラント青年セミナー（八王子市、12月28～30日）：来日するベトナム人1人のビザ取得を支援した。
 - (4) 第1回インドネシアエスペラント大会（2013年4月、インドネシア）：上述の支援金を1名に提供した。
 - (5) 第7回アジアエスペラント大会（2013年4月、イスラエル）：参加申し込みの取り次ぎを行い、グループ旅行を企画した。2013年度に実施。
2. 国際文通サービス：16件を仲介した。
 3. UEA会費の取次を行った。

【3】エスペラント研究教育事業（担当：研究教育部）

【3. 1】事業の方針と成果

教育部門においてエスペラント教育の実施、研究部門においてエスペラント語学の振興を行い、また研修施設の八ヶ岳エスペラント館を運営した。

【3. 2】研究教育事業

1. エスペラント集中学習の機会を設けた。
 - (1) 第45回エスペラントセミナーオー（5月3～5日、東京のYMCAアジアユースセンター）：4クラス、講師含め33人参加。また、第46回（2013年5月、福井県）の準備を行った。
 - (2) 講師養成講座（2013年3月10日、京都エスペラント会館）：11人参加。
2. 各種試験
 - (1) エスペラント学力検定試験：5月4日に東京で4級と2級を、9月9日に京都で4級を、10月6日に札幌で4級と3級を実施。
 - (2) 新テスト：5月4日に東京で、10月6日に札幌で実施。
 - (3) KER-ekzameno（※）：東京会場（JEI事務所）、大阪会場（KLEG事務所）で6月9日16時より実施。計19人が受験し、17人が合格。関西エスペラント連盟（KLEG）教育部の協力を得た。（※）世界一斉実施のKomuna Eŭropa Referenckadro (KER) 準拠の試験。
3. 「ドリル式エスペラント入門」：新教材として準備中で、前半（1～43課）は、会員からの問い合わせに応じて提供中。後半を委員会で作成中で2013年度完成予定。
4. 学校でのエスペラント授業の支援：冊子『国際語エスペラントへの招待』を1校に贈呈。
5. 研究発表会を日本大会（6節参照）にて実施した。発表1件。
6. シンポジウム委員会において、言語問題に関する公開講演会の2013年開催を準備中。
7. エスペラント図書館の管理を行った。

【3. 3】八ヶ岳エスペラント館における事業

1. 4月14日（土）～11月8日（木）の間に開館。延べ253人が利用。本館の運営、広報活動および保全を実施した。
2. エスペラント漬け合宿、秋のエスペラント文化講座、常設展示（世界大会の国ベトナム）を主催し、また他団体のエスペラント関係行事の共催者となった。

【4】エスペラント雑誌の刊行事業（担当：編集部）

【4. 1】事業の方針と成果

会誌を原則として毎月発行した。編集体制としては、月例の編集会議の他に、2013年頭1月12日に拡大編集会議を開いた。

【4. 2】会誌刊行事業

1. A5判40ページを原則とした会誌（RO誌）を毎月（8・9月号は合併号）発行した。各号には原則として特集を設けた。号外として、7月には『Librokatalogo』（2年に1回）、8月には『一般財団法人日本エスペラント協会—運営の概要と主要規程—』、12月には『第99回日本大会報告』を発行した。
2. 電子版会誌は個人会員に専用ウェブページで提供した。視覚障害者、高齢者向けの音声版会誌を発行した。なお音声版の媒体を録音テープからMP3方式のCD-Rに変更した。また点字版製作に協力した。

【5】エスペラント図書等の刊行及び頒布事業（担当：出版部）

【5. 1】事業の方針と成果

エスペラントの学習に関わる図書、エスペラント文化の発展に関わる図書を発行するとともに、内外のエスペラント図書を販売した。

【5. 2】図書刊行事業

以下の図書を発行した。

- (1) 改定版『まるごとエスペラント文法』（藤巻謙一著）：10月刊。
- (2) 日本大会記念出版の絵本”Reviviĝu, la arbaro de Erimo!”（原作：『よみがえれ、えりもの森』、北海道エスペラント連盟訳）：10月刊。
- (3) 日本大会協賛『日エス環境問題用語集／Japana-Esperanta Terminaro pri Naturmediaj Problemoj』（NUN-Vortoj編）：10月刊。

【5. 3】図書頒布事業

1. エスペラント書籍の販売、外国雑誌の取次ぎを行った。図書カタログ発行（4.2節参照）。
2. 本会に寄贈された図書などで、本会図書館の重複本については古書として販売した。

【6】エスペラント大会主催事業（担当：大会組織部）

【6. 1】事業の方針と成果

日本エスペラント大会を継続して開催し、開催できる体制を整えた。

【6. 2】日本エスペラント大会主催事業の計画

1. 日本エスペラント大会を円滑に実施するために、日本エスペラント大会規程を制定した。
2. 第99回日本エスペラント大会（札幌市、10月6～8日）：北海道エスペラント連盟との共催で実施した。大会テーマは「緑のことばで緑を語ろう “Ni interparolu pri verda naturo en verda lingvo!”」。360人の参加で、国外から26人、実参加202名。大会後観光には50人が参加。ベトナム、モンゴル、韓国からの代表を各1名招待した。本会の関連番組としては下記を実施した。
 - ① JEI会員総会（普及推進部）、② Azia Agado／アジア活動（国際部）、③ Delegito／UEA都市代表（国際部／主席代表者）、④ エスペラント会交流会（普及推進部）、⑤ 翻訳（研究教育部）、⑥ 研究発表会（研究教育部）、⑦ 小坂賞記念講演会（普及推進部／小坂賞委員会幹事）、⑧ 八ヶ岳エスペラント館（研究教育部／八ヶ岳運営委員会）、⑨ Pasporta Servo／エスペラント民泊網（国際部）、⑩ 検定試験・新テスト（研究教育部）。
3. 第100回日本エスペラント大会（東京都江戸川区、2013年10月12～15日）：記念大会として充実させるため今年度から準備を進めた。共催は都区内エスペラント会連絡会。大会テーマは「人の心をつなぐことばエスペラント—100余年の歩みから未来へ：“Esperanto ligas homajn korojn — de la pli ol 100-jara historio al estonteco”」。準備会を4月に、実行委員会を9月に発足させた。2013年3月23日には外部講師を呼んで「広報戦略会議」を開催した。

4. 第101回日本エスぺラント大会（福井県小浜市、2014年10月11～13日）：この開催提案を10月の本会臨時業務執行理事会で可決し、開催中の日本大会の閉会式で公表した。

【7】その他事業及び法人の管理

【7. 1】事業の方針と成果

会員の活動を支援し、また本会の事業を円滑に進めるための諸事業を行った。

【7. 2】総務部担当事項

1. エスぺラント会館活用事業：東京都早稲田にあるエスぺラント会館を、本会事務所としてのみでなく、テナント貸与、教室・会議室貸与として活用した。
2. 総務部の職務（庶務、会員管理、役員支援、施設管理など）を、事務局および関連委員会（選挙管理委員会など）を通じて実行した。
3. 法人移行に伴い必要な手続き：登記、諸規程の整備などを実施した
4. 第1回の協議員選挙を実施し、初回の協議員を選出した。
5. 外部組織からのエスぺラントの翻訳や監修の作業を取り次いだ。

【7. 3】財務部担当事項

1. 公益目的支出計画および長期予算計画に基づき、中長期的な視野の下に堅実な収支運営を図り、本会事業の執行を財務面から支えた。
2. 移行発足した一般財団法人としての運営につき、財務面から軌道に乗せた。

【7. 4】ウェブ管理部担当事項

1. 本会のウェブページにて、本会の一般財団法人としての情報を公開した。
2. 本会のウェブページにて、販売図書などの会員サービス情報を提供した。
3. 本会の事業をインターネット技術の側面から支援した。

II. 庶務事項

1. 会議の開催（場所は記載のないものは東京都新宿区の本会会館にて）
 - (1) 評議員会：6月10日（理事・監事の選任、決算の承認）。
 - (2) 理事会：6月10日（4月就任の理事：2011年度報告・決算、基本財産・特定資産を決定。同日評議員より選任されて就任した理事により理事会体制を決定）、2013年3月2日（臨時・電子投票、4規程を可決）、3月24日（2013年度計画、予算の承認など）。
 - (3) 業務執行理事会：5月26日（2011年度報告・決算の検討）、7月15日、9月9日、10月7日（臨時・札幌市）、2013年1月20日。
 - (4) 副理事長会：4月22日、7月6日、11月6日、2013年2月15日。
 - (5) 協議員会：2013年1月20日。
2. 会員：1233人（2012年12月末現在、団体会員45団体を含む）。
3. 役員・職員等の人事
 - (1) 理事・監事改選：6月10日の評議員会で行われた。同日の理事会で柴山純一理事長が退任、鈴木恵一朗理事長が選出された。
 - (2) 顧問就任：4月1日付けで12人就任（内、水野義明氏が6月17日に逝去）。
 - (3) 事務局の幹部職員を1人公募し、3月理事会にて採用を決定した。

なお、本事業報告書は附属明細書を兼ねるものとする。

(以上)